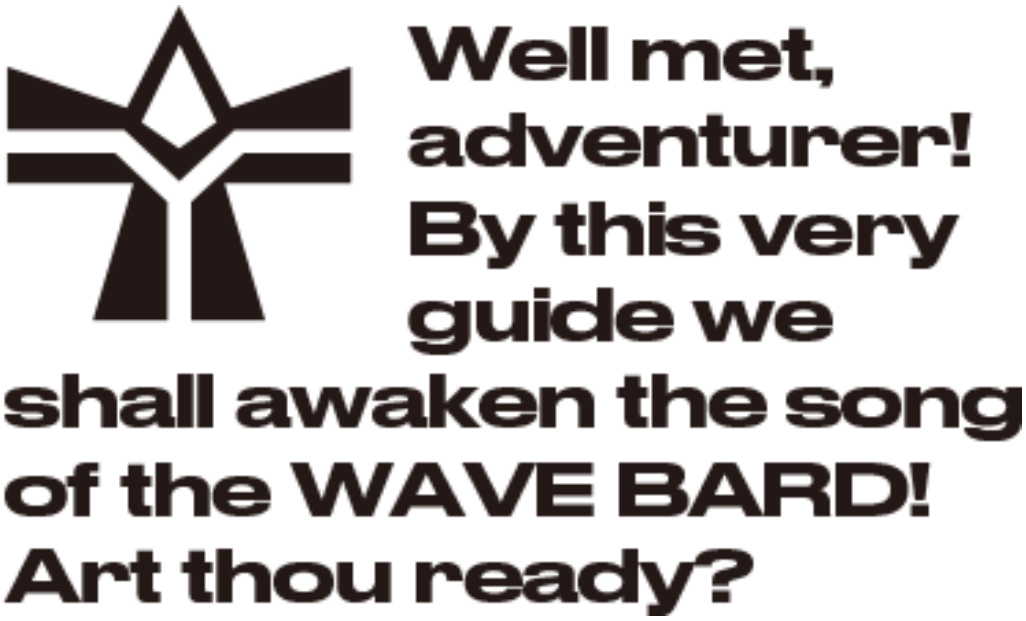
Kastle 2 Wave Bard

クイックスタートガイド！

Quick Start Guide



ようこそ、冒険者の諸君！

このガイドを通じて、WAVE BARD の歌を目覚めさせよう！

準備はできているかな？

---

1. 電源を接続する

- USB-C ケーブルを接続するか、3 本の AA 電池を挿入します。

---

2. 出力を接続する

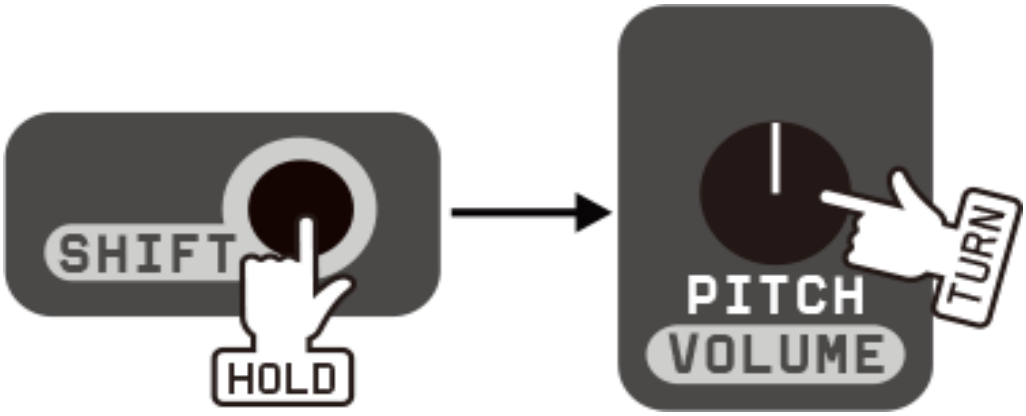
- AUDIO 出力にヘッドフォン、ミキサー、またはスピーカーを接続します。

3.電源をオンにする

- POWER スイッチを右に切り替えて、電源を入れます。

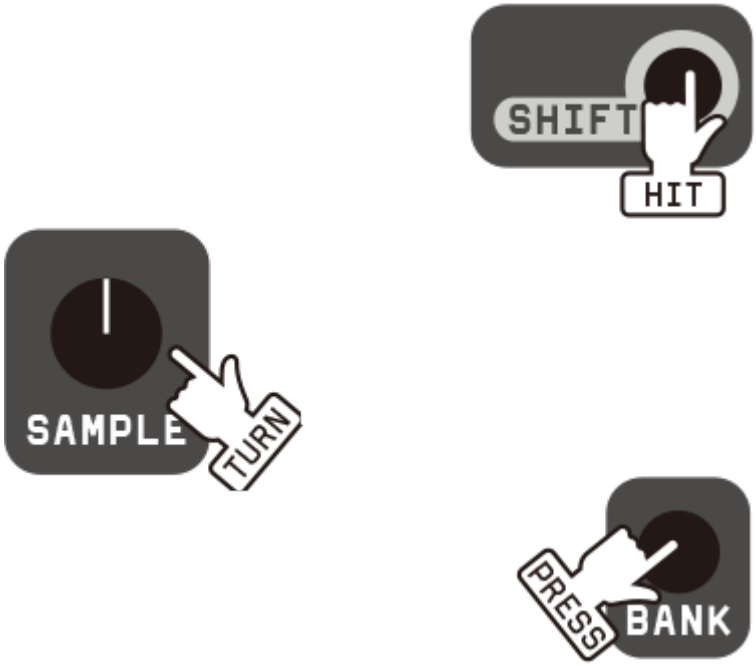
4. 出力音量を調整する

- SHIFT ボタンを押しながら、PITCH ノブを回して出力 VOLUME（音量）を調整します。



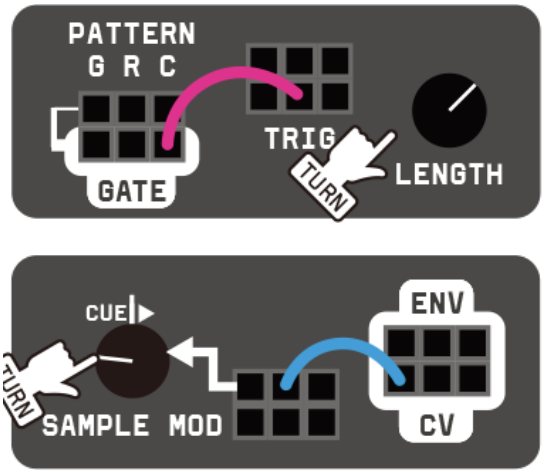
5. サンプルとバンクの選択

- SAMPLE ノブを回して、8 つのサンプルから 1 つを選択します。
- BANK ボタンを押して、別のバンクに切り替えます。
- SHIFT を押しながらサンプルをトリガー（再生）することも可能です。



6. ビートを作る

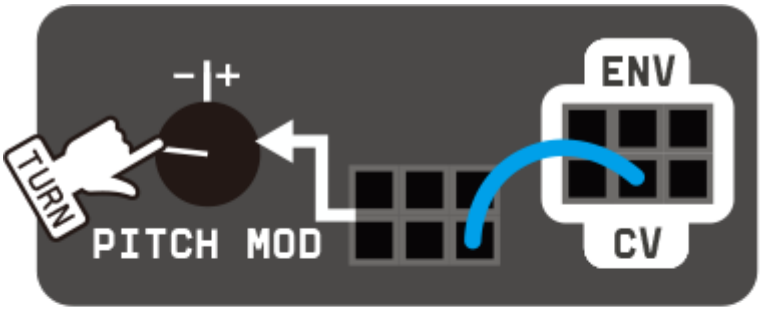
- GATE 端子を TRIG 端子に接続します。
- LENGTH ノブを使ってエンベロープの長さを調整します。

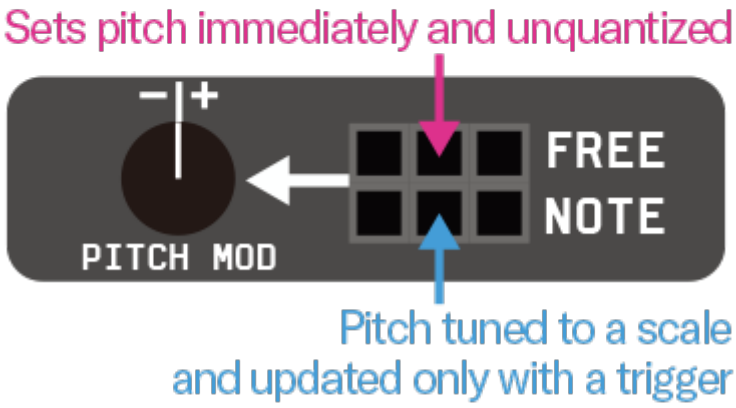


---

7. メロディを加える

- CV ケーブルを PITCH MOD に接続します。
- PITCH MOD ノブを回して、入力 CV 量をアッテニュバート（拡大縮小）します。
- FREE または NOTE 入力も試してみてください。



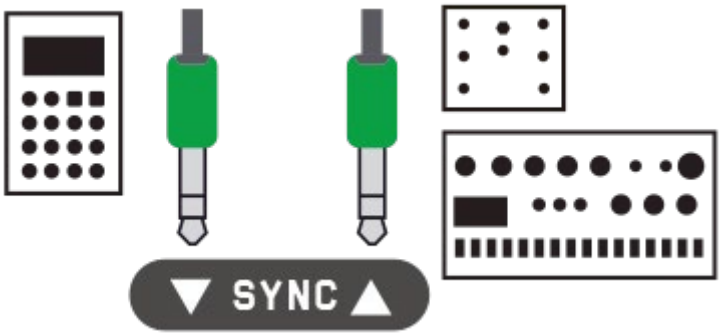


8. テンポを設定する

- SHIFT ボタンを押しながら TEMPO ノブを回して、テンポを設定します。
- SHIFT を押しながら TAP ボタンを数回押すと、タップテンポ設定も可能です。
- SYNC 入力を使う場合、TEMPO ノブは倍率／除算比を設定します。

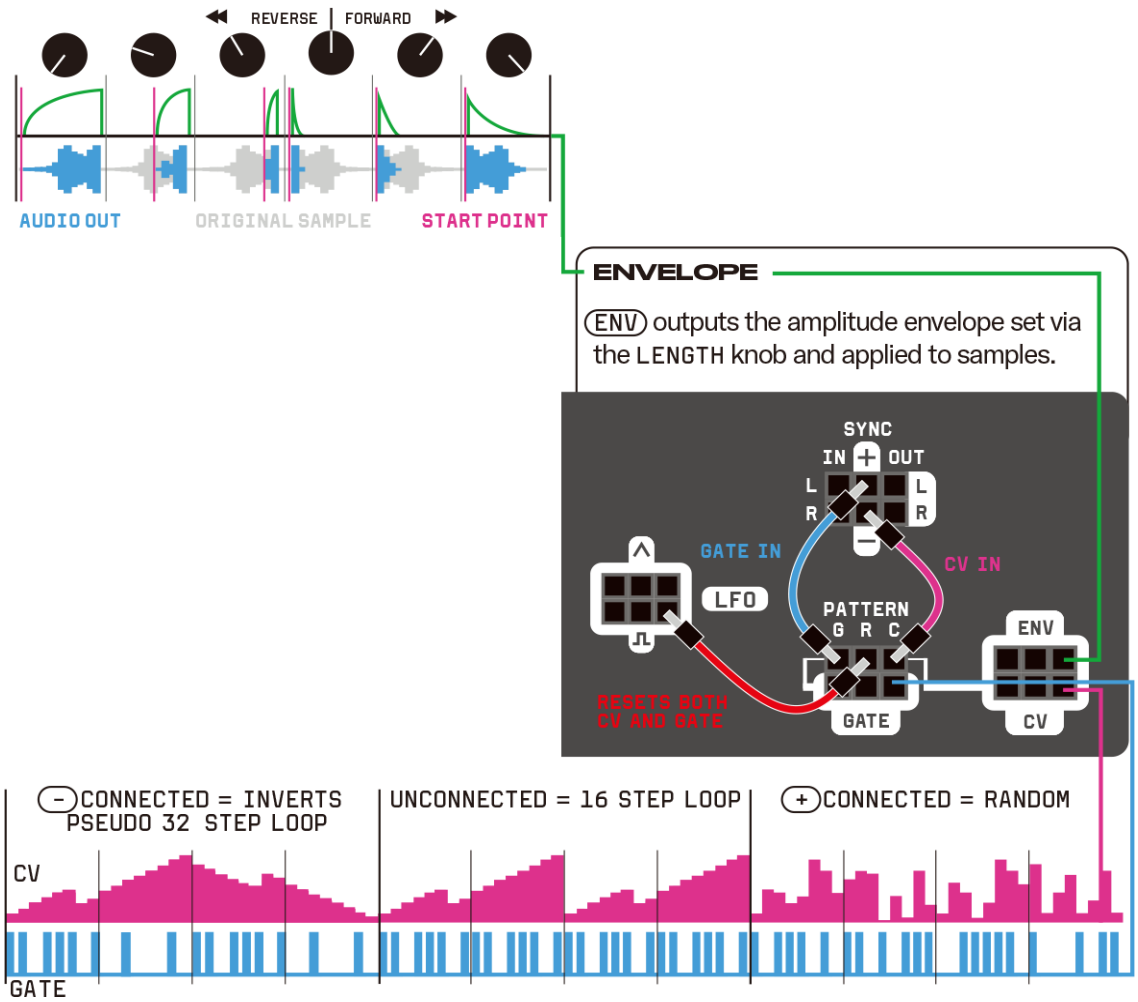
9. クロック同期

- SYNC ▼入力を使って外部クロックに同期します。
- リーダーになりたい場合は SYNC ▲出力を使います。



LENGTH / PLAYBACK DIRECTION

サンプルを順方向に再生するには LENGTH ノブを右に回し、逆方向に再生するには左に回します。



PATTERN GENERATOR

PATTERN は、GATE（リズム）と CV（ステップシーケンス）出力信号を生成します。

これらはどちらも常に TEMPO によって駆動されます。

SHIFT を押しながら LFO MOD ノブ（RHYTHM ノブ）を回すことで、GATE 出力で使用するパターンを選択できます。

パターンを変更するには、PATTERN 入力端子（G-GATE、R-RESET、C-CV）を使用します。

「＋」パッチポイントを接続すると、現在のシーケンスがランダムに変化します。

面白いパターンができたら、ケーブルを抜いて固定しましょう。

「–」パッチポイントを接続すると、シーケンスにバリエーションを加えることができます。

モジュレーション信号を使って変化させることも可能です！

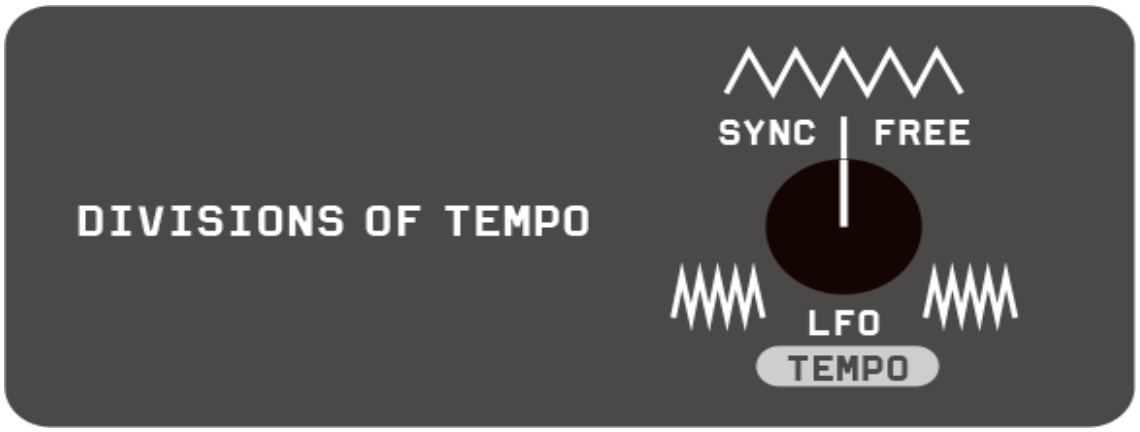
LFO のパルス出力を PATTERN R-RESET 入力にパッチすると、シーケンスの長さを変えることができます。

ENVELOPE

ENV は、LENGTH ノブで設定した振幅エンベロープを出力し、サンプルに適用します。

LFO

WAVE BARD を極めるには、モジュレーションを習得しましょう！



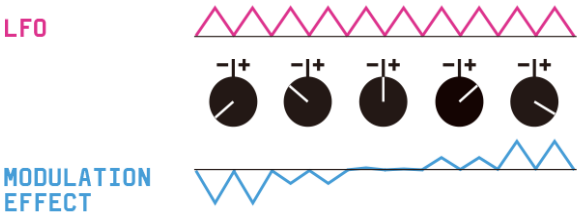
LFO は、三角波とパルス波を周期的に出力します。

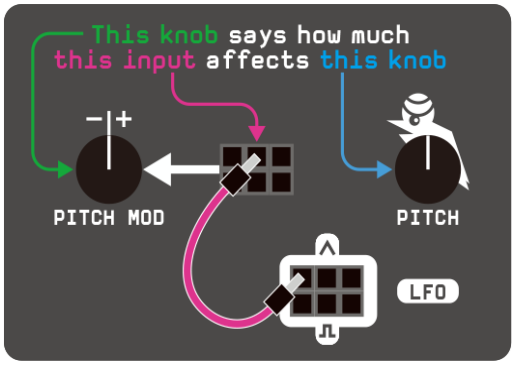
LFO ノブを回してスピードを調整します：

・右に回すとフリーランニング、

・左に回すとテンポに同期します。

MODULATION MAGIC





PITCH MOD ノブを回して、ピッチモジュレーションの量と極性を調整します。

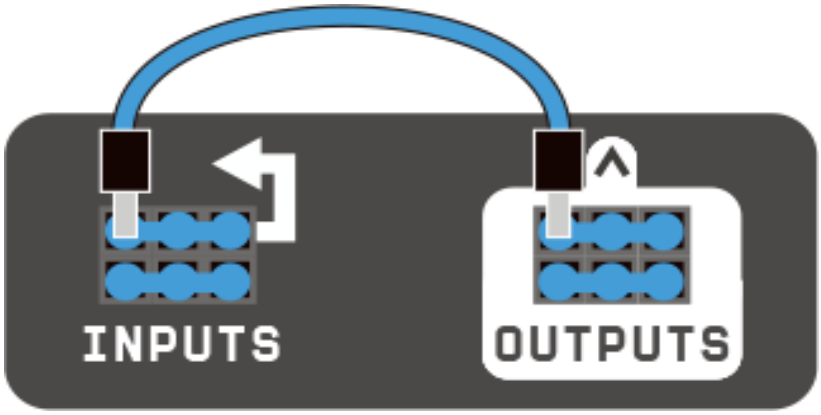
LFO MOD ノブも同様に操作します。MOD を使って、LENGTH モジュレーションの量を調整します。

ヒント：CV を使ってサンプルバンクを切り替えることができます！

BANK ボタンを押しながら LENGTH ノブを回して、バンクモジュレーションの量を調整します。

出力を入力に接続します。

見た目はこのようになっています。

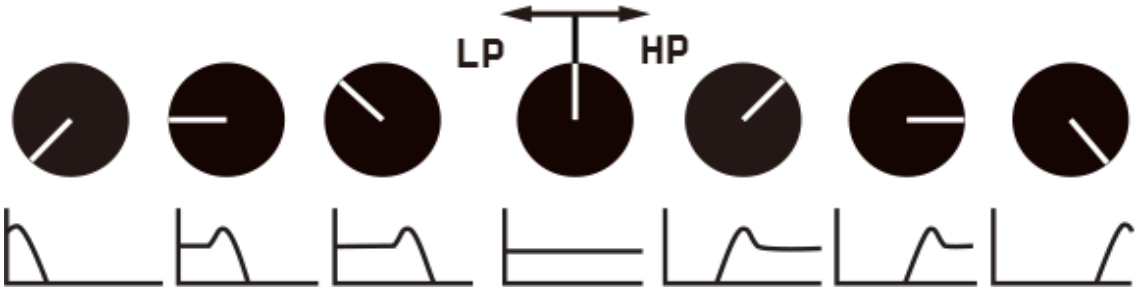


横に並んだ 3 つのポイントの多くは内部でつながっています。どれを使っても構いません。

自由に実験してみてください。

何をしても壊れることはありません！

FILTER & FX



FILTER を使ってサウンドに変化を加えましょう：

・明るくする場合 – HP（ハイパス）で低音をカット

・暗くする場合 – LP（ローパス）で高音をカット

PITCH MOD ノブを回して、ピッチモジュレーションの量と極性を調整します。

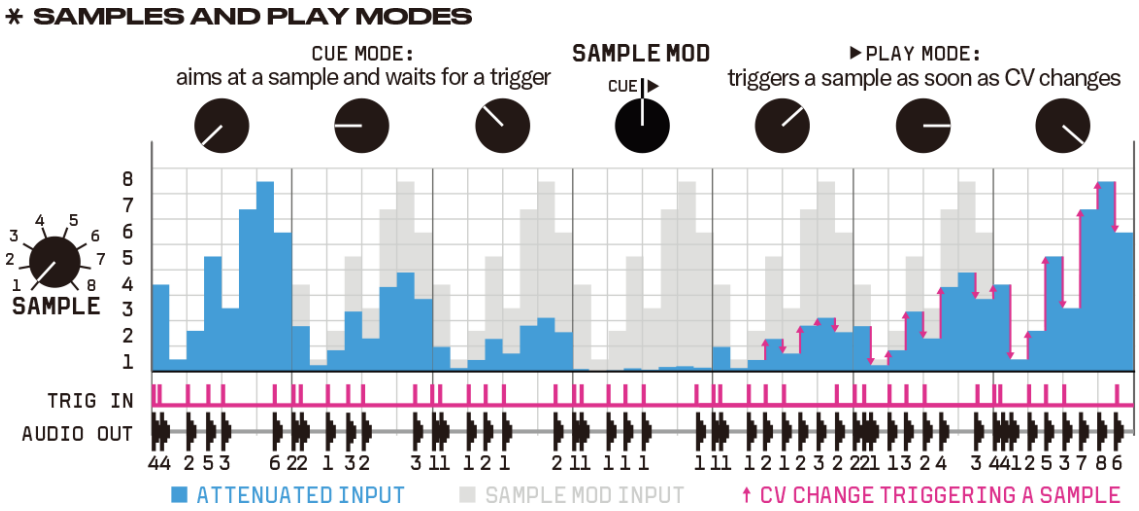
LFO MOD ノブも同様です。

FX ノブの調整：

・左に回すとディレイ／エコー効果

・右に回すと歪んだコーラス／フランジャー効果

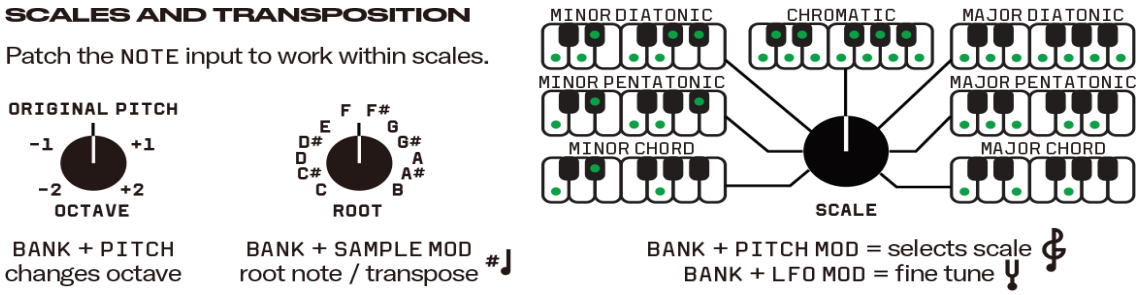
サンプルとプレイモード



CUE MODE: サンプルはトリガーを待ちます。

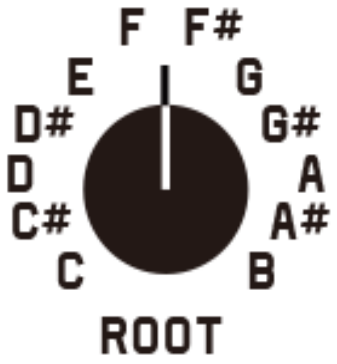
PLAY MODE: CV が変化するとすぐにサンプルをトリガーします。

スケールとトランスポーテーション



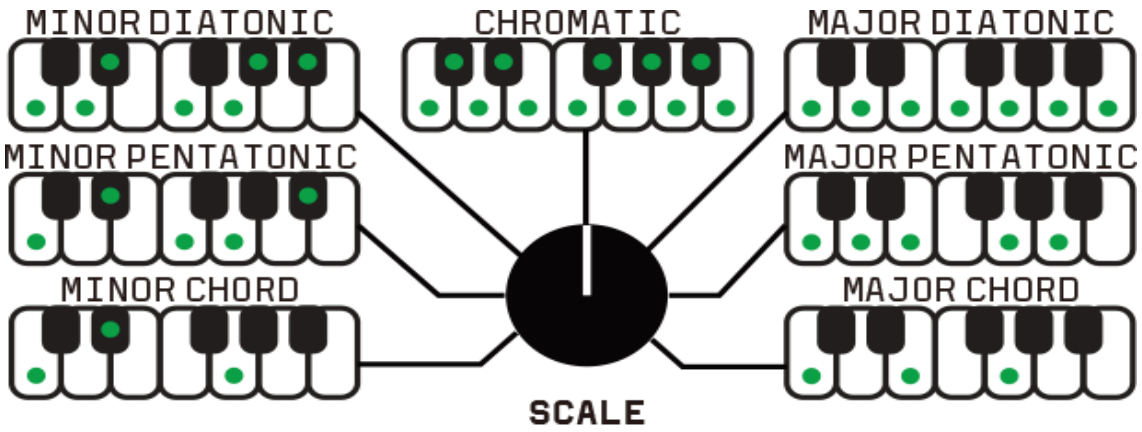
スケールとトランスポーズ設定

- BANK ボタンと PITCH MOD ノブを同時操作して、スケール（音階）を選択します。
- BANK ボタンと LFO MOD ノブで、ピッチを微調整します。
- BANK ボタンと SAMPLE MOD ノブで、ルート音（基準音）やトランスポーズ（移調）を設定します。
- BANK ボタンと PITCH ノブで、オクターブを変更します。



BANK + PITCH
changes octave

BANK + SAMPLE MOD
root note / transpose



BANK + PITCH MOD = selects scale
BANK + LFO MOD = fine tune

BUTTON COMBOS

SHIFT + knob = secondary function in silver
SHIFT + BANK = TAP the tempo
BANK = next BANK
BANK + SHIFT = previous BANK
BANK + LENGTH = mod. attenuation for the BANK input
SHIFT + BANK >2s = adv. settings (input behavior etc.)